

# 底曳調査における新規定点での魚種組成の特徴

福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部

## 1 部門名

水産業－資源管理－底びき網

## 2 担当者名

岩崎高資・池川正人

## 3 要旨

主要底魚類資源状況の把握を目的として、これまで毎月10定点において調査指導船いわき丸による底曳調査を実施してきたが、令和3年3月から新規定点S80、S250を追加した(図1)。本研究では、資源評価精度の向上に資するため、新規定点での魚種組成の特徴を把握した。

- (1) S80では、3～11月に8回調査を実施し、75種7,660個体390.9kgが採集された。
- (2) S250では、7～11月に5回調査を実施し、50種4,893個体537.5kgが採集された。
- (3) 令和3年1月～11月に塩屋埼沖(調査定点名:S)の調査定点(7定点)で採集された魚介類の測定データを用い、定点別の重量密度及び魚種別階級別の個体数密度を推定した。
- (4) 定点別重量密度は、S80ではマアジ、ヒラメ、カナガシラ、ムシガレイ等が、S250ではヤリイカ、ヤナギダコ、ユメカサゴ、アオメエソ、沖合性巻貝類等が高かった(表1、2)。
- (5) 定点別階級別個体数密度(図2)から、S80ではカナガシラ、ムシガレイ、ヤナギムシガレイ等の小型魚の密度が高く新規加入水準推定精度の向上が期待される。また、S250では、アオメエソ、ユメカサゴ等の成魚の密度が高く、資源評価精度の向上が期待される。

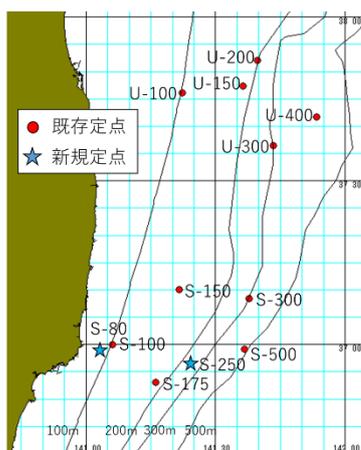


図1 調査定点図

表1 定点別重量密度(S80)

魚種名	単位: kg/km <sup>2</sup>						
	S80	S100	S150	S175	S250	S300	S500
1 マアジ	205	47	62	3	0	0	0
2 ヒラメ	203	255	11	37	0	0	0
3 カナガシラ	181	155	198	115	0	0	0
4 ムシガレイ	130	196	23	34	7	0	0
5 マトウダイ	48	45	0	2	0	0	0
6 ショウサイフグ	44	3	7	0	0	0	0
7 ジンドウイカ	38	21	18	3	0	0	0

表2 定点別重量密度(S250)

魚種名	単位: kg/km <sup>2</sup>						
	S80	S100	S150	S175	S250	S300	S500
1 ヤリイカ	67	91	287	398	495	12	0
2 ヤナギダコ	78	110	248	108	301	148	84
3 ユメカサゴ	0	2	17	33	191	23	0
4 アオメエソ	0	1	78	148	161	63	0
5 シライトマキバイ	0	0	0	2	157	35	0
6 エゾボラモドキ	0	0	0	3	100	18	1
7 ミシガレイ	2	26	23	39	99	54	0

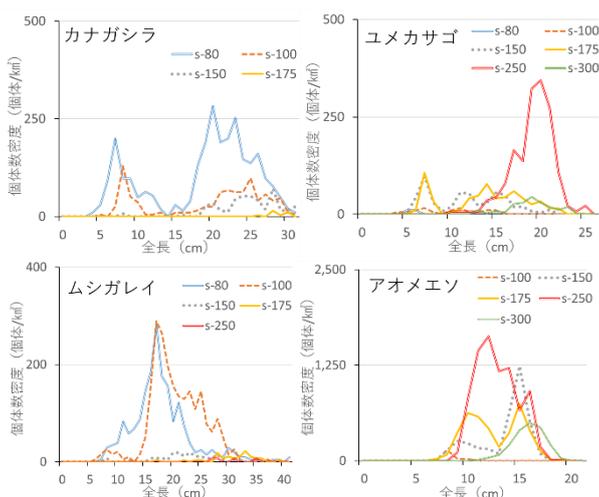


図2 定点別階級別個体数密度

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3年度～7年度
- (2) 研究課題名 カレイ類資源管理手法の開発

## 5 主な参考文献・資料

- (1) なし